

# 長畝ふるさと通信

【2019年10月号】

## ■ 自然災害に負けないために

ここ数年続く夏の異常高温、秋の台風襲来によって稲作農家は大打撃を被っています。台風19号で甚大な被害を受けた長野県や福島県をはじめ、農林省の発表では全国の農業被害額は880億円にもなるそうです。新潟県ではコメの1等米比率が過去最低の14.6%となっており、米どころとして有名な魚沼や長岡は10%未満だそうです(10月23日現在、新潟日報より)。佐渡ではJA佐渡で出荷契約数に対して70%程度の集荷率となっており、1等米比率も50%程度で昨年に続き不作、低品質となってしまいました。

(当方のコメは先月号でもお知らせしたとおり、ご安心ください)

家が流され住む場所さえ失ってやむなく移住する人や、ビニールハウスや農業機械・農業施設を失って廃業に追い込まれる人など、毎日の暗いニュース報道に胸が痛みます。そんな人達に比べたら幸せという以外ありませんが、将来への不安は増すばかりです。「今の地球環境では将来生まれてくる子供が可哀そうだから子供を産みません」宣言をしたカナダのお姉さんもいましたが(ちょっとズレてる気がしますけど・・・)、それほど世界中で起きている自然災害が深刻なのだと思います。

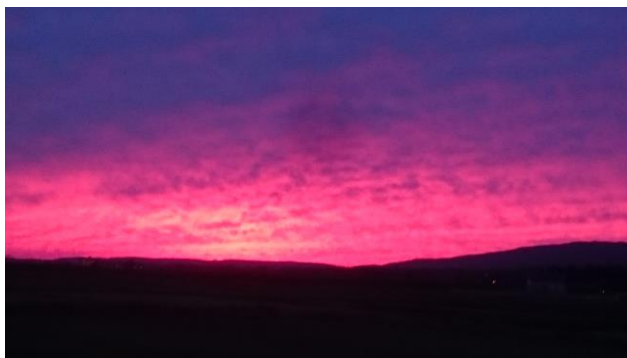


(右写真→19号台風、稲刈り後のワラが強風で押され、田んぼを超えて道路を覆ってしまいました。現在このワラの始末に苦戦しています)

県やJAではコメの作期をズラしたり、地力向上に土壌改良剤を施用するなど小手先の改善策しか提案されていません。何よりいつ発生するか予測できない自然災害から逃れる術はないのです。一方で被災者を支えるや全国の心あるみなさんの支援は日本人が得意とするところです。ワールドカップラグビーで桜戦士たちが見せてくれた、みんなで支えあい共に頑張る「ONE TEAM」の精神こそ、これから最も大切なことだと思っています(これが言いたかっただけです)。

## ■ 新しい時代へ

天皇様の即位の礼の前日、西の空は燃えるような夕焼けでした。



令和という新しい時代を迎え、農業の形も進化していかなければなりません。 「日の丸精神」はこれからも不変でなければと思います。日の丸弁当の主役はやっぱり「お米」。美味しいお米をたらふく食べて頑張ります！

おかわりは自由です